



第17号

平成17年7月1日

発行
千歳市町内会連合会
千歳市東雲町2丁目
千歳市総合福祉センター内
TEL.0123-27-2525

印刷
(株)フロンティアエージェンシー
千歳市信濃3丁目32-7 TEL.0123-26-5191

市町連だより

平成17年度 定期総会開催 千歳市町内会連合会に改称

千歳市町連協は5月21日(土)千歳平安
閣に於いて市内79名の各会長出席のもと
に定期総会を開催した。

会議に先立ち藤原会長は挨拶の中で「町
連協も会結成以来40年の確かな歩みを続
けて参りました。この間、一貫して二人の
不幸も見逃さない住み良い町づくりを目
指し各町内会との連携を深め、協力して進
めてきた所です。本総会の中では、町連協
の更なる発展と強化を図るため、特別委員
会で論議を重ねてまいりました名称の変
更を含む規約の改正や40
周年記念事業実施に伴う
実行委員会の設置等を提
示致します。どうか大きな
改正や事業で御座います
ので慎重審議をよろしく
お願致します。」と強調さ
れた。



千歳市町内会連絡協議会
定期総会

続いて、新富北町内会長
富樫保氏を議長に選出、議
案審議に入った。大野総務
部会長、事務局より平成16
年度事業報告、収支決算報
告がなされ、何れも承認された。続いて「規
約の改正」「平成17年度事業計画」「収支予
算」並びに「創立40周年記念事業に伴う実
行委員会の設置」等が提案され、何れも慎
重審議の末、原案通り承認された。
各提案内容の骨子、主な質疑応答の様子
をお知らせします。

事業方針について

本年度も「明るく 楽しく ふれあいの

ある町内会」づくりに向けて取り組む
そのため

- ・ 昨年度実施した「町内会活動の実態調
査結果」を分析し、各町内会の抱えてい
る諸問題の解決方策を探る。
- ・ 創立40年の節目を迎えるにあたり、社会
の進展と町内会を取り巻く環境の変化
に対応した組織作りと諸活動のあり方
等を検討していく
- ・ 町内会未加入世帯への加入対策、自主防
災づくりの積極的な推進

主な議案について

- ・ 千歳市町内会連絡協議会規
約の一部改正
「千歳市町内会連絡協議会」
を「千歳市町内会連合会」へ
と改名
- ・ 市町連創立40周年記念事業
に伴う実行委員会の設置
- ・ 40周年記念事業に伴う実予
算案並びに新規約に基づく「副
会長」1名増員の選考承認に
ついて

本来的に総会において承認されるべき
案件であるが、臨時総会開催については大
変であるので今回の案件のみ理事会にて
慎重審議し承認されれば、総会で承認され
たものとして扱ってよい。との意見が出さ
れ全会一致で可決された。

主な質疑応答について

質問 千歳市町内会連絡協議会が千歳市
町内会連合会と名称を代えるが基

質的
本的な考えや内容が変わるのか
質的に変更はない。これまでの町連
協活動を踏まえ、更に発展強化を
図っていくという事である。(詳細は
次のページの特集で取り上げる。)

質問
地域にも連合会組織がある。「市町
連」組織とどう違うのか。

答え
地域の連合組織は単位町内会組織
として活動する中で行事や事業の
中で地域全体として実施した方が
より効果的であると考えられるもの
を取り上げ実施するものである。例
えば、「子供盆踊り」会や防犯、防災に
関する事業は単独では、効果が薄い。

質問
一方、「市町連」組織は、住み良い
町づくりを目指し、各町内会の共通
の課題を整理し、解決への道筋をつ
けたり、行政や他機関との連携の上、
問題解決の糸口をつける。

また、そのための学習や研究を進
めていき相互の高めあう機会を推
進していくものである。

質問
昨年「実態調査」を実施して多くの
課題が浮き彫りとなった。「市町連」
としては、どうリーダーシップを発
揮し町内会の課題解決に向けて支
援して貰えるのか。

答え
「市町連」としては、調査結果の分析
を更に進め課題を焦点化していく。
その上に立って、具体的な手立てや
方策を練り提示していければと考
えている。しかし、いずれも、町内会
自体では解決出来ない問題も多い。
他機関や行政との折衝や連携が不
可欠である。そうした事も同時に進
めていく事が大事であると捉えて
いる。

組織全般とに伴う 特別委員会の中間報告 事務所開設

【特別委員会(事務所開設準備と組織見直しするため)】

特別委員会とは？

平成16年度の町連協の定期総会で、組織の見直しと事務所開設に伴う特別委員会の設置が認められ、委員長には、総務部会長の大野知之がなり、委員には、副会長／佐藤捨男、副会長／廣永實、副会長／宮本正志、安全部会長／中村茂昭の5名が特別委員会のメンバーで役員会の承認を受け、審議してまいりました。

市町連の事務所って何処？

本会では、町内会・自治会のより一層の連携、協調を図っていく上で、活動の拠点となる専用の事務所確保は重要な課題の一つとして捉え、行政機関や関係機関に強く働きかけをしてきました。

その中で平成15年後半に市では、旧エスプラザ地階に町連協事務所を設置したいという趣旨の報道があり、平成16年度はこの受け入れ体制と管理運営等の諸準備を進めてまいりましたが、市財政事情により、中止の方向が示されました。その後、社会福祉協議会より平成17年度庁舎移転となる新庁舎内に市町連(町連協)の事務所設置を考

があり、委員会では将来事務所独立を目指しながら、従来どおり、お世話になることになりました。今年11月、旧看護宿舎跡に新庁舎が完成しますので、ご利用ください。

【組織の見直し】

今、何故組織を直すの？

本会は、住民の福祉を増進するため昭和42年2月に発足し、今年創立40周年の節目を迎えることになりました。経済の不況、加速する高齢化、地域にあつては、価値観の多様化、町内会を取り巻く社会状況も大きな変化を遂げています。これからの新しい時代に向けた町内会づくりを、あらためて会員の皆様と共に考え、行動することが望ましいと考えます。

創立40周年を迎えるに当たり、規約全体の見直しを考え、本会の組織のあり方を検討する中で、今回は連絡協議会的な組織からより結合力を持つために、名称変更をしました。地域の町内会がまとまって、住民が安心して暮らせる地域社会づくりに取り組んでまいりたいと考えます。その活動を、自主防災、地域活動等に期待し、千歳市町内会連合会(略称・市町連)が強い発信源になりたいものです。町内会未加入者に積極的に関わることや、町内会の意義」をお

話し、人との繋がりを大切にしてほしいこと、助けられたり助けたりは、心情の通い合い、隣人愛になるのではないかと思うのは私だけでしょうか、ひとりごとです。

平成16年度は何をしたのですか？

市町連(旧町連協)は昨年到现在、「明るい楽しいふれあいのある町内会」づくりを活動の目標に掲げ推進してまいりました。特に、重点項目として

- (1) 町内会活動の実態調査の実施
 - (2) 町内会未加入者への加入対策(調査の集計のみ。具体策は次年度から考えてまいります)
 - (3) 自主防災組織づくりの推進
- を設定し、具現化に努めてまいりました。

自主防災については、調査の結果設立している25%、検討している20%、合わせて45%でした。また、意義はわかるが問題が多いので保留とするが27%あり、その理由として、役員が高齢であり誘導もままならない、また、日中は働き手が職場に勤めに出て不在で、人手が手薄で機能するとは思えない、など。本音が語られているのかなと感じましたが、その中で最低でさがることは何かを考えなければならぬと痛感しました。昨年役員の皆様はじめ会員の皆様には大変お世話になりました。この機会に町内会に加入していない方には、会長さんからは是非ひと声かけていただきたいと思います。

町内会 点描

パトロール

ジャガイモ

春らしさがやっと感じられる午後5時、犬を連れて一組のご夫婦が散策されていた。何の変哲もない風景ではあるが、問題は旦那さんの服装である。夜光色を施した黄緑のベストを着用し大きく「長都町内会」と書かれていた。

会館の脇に子供たちが群がって何か土いじりをしていて、よく見ると大事そうに円い芋を埋めているのである。ああ今年も子供会での農作業が始まったのだ。

「このベストは何ですか」と聞くと、「ああこれね、散策と不審者等の見回りを兼ねているのです」と答えると、又楽しそうに談笑しながら散策パトロールを続けられていた。

2、3年前までは、余り気乗りのしなかつた種芋植え作業を楽しそうに、土と一体となつてやっていた。

会長さんにお尋ねすると、昼は「退職された方、夜は、現役の方に歩いて貰っている。効果は、常に目を向けているぞ」というアップビールドです。

町内会の子供会を担当している役員は、永年の成果である。秋の収穫とそれを素材とした「ごちそうづくり」を夢見て、懸命に作業する子供たち。明るい春の日差しは、畑と子供の顔に燦燦とふりそそいでいた。(静和町内会館横の畑にて)

新任です よろしく



副会長	愛澤 祐司
総務部	塚原 孝昭
安全部	佐々木 徳博
環境部	小林 俊裕
青少年部	山本 明義
福祉部	石田 邦明
	内山 貞一
	山内 侃

和気あいあい！親睦会！

栄町東町内会 会長 須藤 文夫

今年も6月1日に千歳中学校(島巖校長)からの要請を受けて、栄町東・西町町内会が千中の花壇作りに参加。学校周辺の清掃から、体育大会の応援に出掛けました。



「普段は、なかなか生徒たちと話す機会が少ないが、こうしたイベントを通じて、お互いにいろいろなことを学べる。これからも、こうした交流は続けたい」と私たちは考えています。特に万一の災害時には、地域のつながりが重要なのは勿論ですし、こう

栄町東町内会

した若い世代の協力が不可欠です。避難場所もなかなか徹底されず、市町連との連絡体制など自主防災の仕組みも作りたいと思っています。本人が他の地域に移転されてからも町内会の役員を継続してくださるありがたい会員もおられます。これからも、野外のイベント等を通じて昨年同様、環境整備や高齢者福祉、青少年育成を中心に、町内会活

動の活性化を図りたく思っております。

自主防災組織の立ち

上げ準備としては、基本は助け合いですが、親睦会等を通じて、お互いをより知ることも大切です。パークゴルフやジンスカンパーティ、新年会等を通じ、婦人部、民生児童委員や福祉委員、クリーンアップ推進委員等が中心となり、町内会との連携を一層深めることも重要と確認しています。

楽しいことから活動が広がりますが、町内会活動においても時節柄、その際の個人情報取り扱い等には十分な検討が必要と、特に考えられます。



紹町内会

「住民連帯意識の構築」を
目指す町内活動

弥生町内会 会長 大古瀬 千代

昭和57年「弥生町内会」が設立、現在810世帯を超える大規模な町内会となりまして。東千歳駐とん地を近くに、新千歳空港を結ぶ高速道路の整備、スケ



ートボード場、キャンプ場、多目的広場、パークゴルフ場の整った「地区公園」メムシ公園等、温水プールや高齢者施設祝梅ほつとす、「祝梅児童センター」等、町内には地域生活基盤整備がされております。

町内会活動は59人の役員を中心に行われています。4月の「新入学児童を励ます会」は親子揃っての参加者が年々増加する活気ある一事業です。夏には子供キャンプ、ラジオ体操。七夕まつりは地域の高齢者の方々の交流を深めてくれます。千歳神社祭りの子ども御輿、また「やよい夏まつり」は行灯まつり、盆踊り、各種出店、ビアガーデン等、多彩な企画



で会員の交流と親睦を深める大事業です。

また日帰り温泉旅行も大好評で、秋の「高齢者を囲む会」等は町内福祉委員会の協力を得ながら実施しています。「ふれあい広場」等各部会を中心とした諸活動も盛んで、町内会地域内の4カ所の公園整備では老人クラブの皆さんの協力が大きな力となっております。また、ごみ問題・リサイクル活動は、町内独自の推進体制で実施しています。

今後とも会員の連帯意識の再構築を課題としつつ、安心・安全・あつたかみのある「町内会づくり」に努力しなければと考えております。

弥生町内会

雑感

「町内会配布物」



「トントントンカラ
リット隣組〜〜回して
ください回覧板 教え
られたり、教えたり」

戦中派には、とても懐か
しい「隣組の唄」である。軽や
かなメロディーと共にご近所の
連帯感を強調した「町内会歌」であった。

しかし、そんな長閑な温かい感じの歌詞やメロ
ディーとは裏腹に実は内容面では非常に重要な
意味を持っていた。

① ○月○日には防空訓練が実施される。特に
婦女子によるバケツリレーによる消火訓練
が予定されている。午前10時までに集合
されたい。

② 今月の配給物は「米3日分」である。5日よ
り販売予定である。

もし、この記事を見逃すとすれば死活問題で
ある。非国民と呼ばれ、食料が手に入らず生活に
窮する。現在の奥様方は如何であろうか？衣類、
食料が店頭に溢れているとは言え、目の色変え
て見るのは「チラシ」広告である。五の市・特売品
等見逃せない。そんな貴重な「チラシ」と比べ「町
内配布物」は惨めである。目の色を変えて目を凝
らす対象物とはなり得ない、様に思える。

そんな、ある朝の事、会長宅の電話が鳴り響く。
「もしもし会長さんですか、今月の広報がまだ届
かないんですけど…会長さんはちゃんと配ったん
ですか。」「ええ、確か7日の日に班長さんにお願
いしたんですけど…ところで何班の何方ですか？」
「名前なんか名乗る必要ないしよ。市営住宅の申
し込みの件が載っているって聞いたんですけど。

遅れたら如何責任とるの」「班
長さんに確かめたいので、
せめて班だけ知らせて…」「も
ういいです。…たく…」ガチ
ャン…ツ〜〜相互不信の音
が鳴り響くばかり…「くそ…人の
苦勞も知らないで…たく…やっ
られんよ！」普段広報なんか読む所ない

よね。税金の無駄使いだよ。なんて言ってくせに、
自分の生活に関わるとなると遅いのなんのって
…。すっかり興奮状態。

「はい、お茶でも飲んで」家内の差し出すお茶をが
ぶり。2杯目を飲む頃やっとな落ち着きを取り戻す。

私自身普段どうであったろうか。特に、この役
につく前までの頃を振り返ってみるのであった。
物凄価値観を見出して読んではいなかった様
な気がする。でも、拾い読みをする中で、ある記
事文には、異常に興味を感じ「う〜ん成程そう
なのか。」とか、「母さん、市役所にこれを申し込む
と安くなるそうだよ。」自分に関わる大切な事柄は、
逃さず目を凝らしたのではなかったか。随分
役立ってもいたな…。と、思い至った。一方、電話
の方も必要で大事な情報であったからこそ、電
話で確かめたに違いない。それでも、遠慮して匿
名にしたのに違いない。

やはり、「町内配布物」は、価値がない様に思え
ても、ある個人には重要で価値のある情報なのだ。
ただ、それが、埋蔵されているので、掘り起こす
必要があるのだ。もっと大切に見なくては…。

〜そう思うと、何故かあの懐かしの「トント
ンカラリット隣組…」のメロディーを自然と
心の中で口ずさんでいるのであった。

編集後記

▼日本の経済発展期には、耐える時
代を経たせいも、余り不満や窮屈さ
を感じないで来た。「もつともつと
頑張らねば敗戦から立ち直る事は
出来ない」という思いが皆共通に備
わり、隣近所の付き合いも今より濃
厚であった様に思える。
▼経済的豊かさは、人々の思いや考
えも変えてきたようである。これは
社会の変化に伴う一つの帰結であ
り、一概にその価値観が悪くなった
とは言えない。▼しかし、これから
の日本社会に住む我々は、こうした
社会の変化に対応した生き方を模
索し「人間らしい価値のある社会を
構築していく事が求められている。」
▼「市町連」はその最前線に立つて
いる事を自覚して前へ一歩進めて
いきたいものである。



編集委員

大野 知之

畑中 盛

河野 真範

力示 武文

近村 テルノ

須藤 文夫

佐々木 徳昭

事務局

小玉 あけみ

水谷 加寿子